

新型コロナウイルスに便乗した 詐欺手口にご注意を！

(文と絵) 司法書士 山田茂樹

国内で新型コロナウイルスの感染拡大がみられる中、マスクの品不足が発生したり、政府の経済状況などの対応が日々報道されたりしています。

こうした状況に乗じた詐欺が発生しています。例えば、行政から委託を受けていないにも関わらず「行政から委託を受けて消毒を行っている」などと電話をかけてくるケース、個人情報不正入手のために「給付金の交付が決定したが、受け取るためには口座番号の提供が必要」とするケース、架空のマスク



販売広告のメールを送信するケースなどがあります。見ず知らずの者から、こうした新型コロナウイルスに関連した何らかの勧誘や問い合わせがあった場合は、すぐに対応することはせず、消費者生活センターなどに問い合わせるようにしてください。

【消費生活相談】
時間 (共通)
9:00 ~ 16:00
(12:00 ~ 13:00は除く)

伊豆の国市役所伊豆長岡庁舎
相談日: 毎週月~金曜日
(年末年始・祝日は除く)
※相談員による相談は月・水・金曜日
☎ 伊豆の国市市民課 ☎ 055-948-2901

伊豆市役所 (伊豆市小立野)
相談日: 毎週火~金曜日 (年末年始・祝日は除く)
☎ 伊豆市市民課 ☎ 0558-72-9858

より多くの命を救うために

災害によるケガは、

まず救護所へ

● 震度6弱以上の 地震発生時の対応

蕪山福祉・保健センター、田京幼稚園、長岡幼稚園の3カ所に救護所を開設します。

● 救護所での対応

救護所では、救護所に運ばれた順番ではなく、重傷な人を優先して治療するため、治療の優先順位を決める「トリアージ」が行われます。また、その場での応急処置や大きな病院への搬送が必要な場合は、その手配をします。普段ならすぐに治療し

てもらえるようなケガでも、処置を待たなければならぬ場合があります。命の危険がある人を優先して治療するため、ご理解ご協力をお願いします。

● ケガをしたらまず 救護所へ

自身の判断で、直接「救護病院」へ行くと、病院の機能はバクシ、多くの命が危険にさらされます。ケガをしたら、まず救護所へ行きましょう。救護所では、緊急度や重症度に応じ、救護病院と連携して対応していきます。

● 診療所、

クリニックの対応



大規模地震発生時、市内の診療所やクリニックなどは『閉鎖』されます。医師は救護所に集結することになっています。救護所は発災から最長で72時間設置され、医師や歯科医師、薬剤師、看護師が交替で救護活動を行います。

☎ 健康づくり課
055(949)6820

自分の命は自分で守ろう「今こそ耐震補強を！」

専門家による耐震診断は、
無料で受けられます！

木造住宅耐震補強の費用を補助します

☎ 危機管理課 ☎ 055-948-1482

市では、国や県と協力して推進している木造住宅の耐震化を図るプロジェクト「TOUKAI (東海・倒壊) - 0 (ゼロ)」の一環として、耐震補強計画や耐震補強工事の費用を補助します。

- 対象/市内にある昭和56年5月31日以前に建てられた木造住宅で、居住のために継続して利用している住宅(空き家・別荘は除く)
- 補助額/事業に要する経費と次の表の金額を比較し、いずれか少ない額を補助します。

	①専門家による 無料診断	②耐震補強計画の作成		③耐震補強工事
		専門家診断 未実施	専門家診断 実施済み	
一般世帯	-	102,000円	96,000円	600,000円※
高齢者等世帯	-	154,000円	144,000円	800,000円※

※耐震補強工事を行う際、耐震補強工事PR看板の設置などのPR活動に協力する住宅には、補助額15万円を上乗せします。(令和2年度まで)
対象の木造住宅に耐震シェルターまたは、防災ベッドを設置する補助が新設されました。

○その他/詳しくは、直接問い合わせください。

①わが家の
専門家診断
無料

②補強計画
の作成
補助対象

③補強工事
の実施
補助対象

第6回

ごみの分け方・出し方

スプレー缶は

ガスを抜いてから出そう



スプレー缶やカセットボンベは、中身を使い切った後、風通しがよく火の気のない屋外で穴を開け、ガスを抜いてください。その後、カンの日(アルミ缶・スチール缶)に出してください。ガスが残ったままゴミに出してしまうと、ごみ処理施設で爆発による作業員のケガや施設破損の危険性があったり、ごみ収集車でガス漏れ火災の原因となることもあります。ゴミに出す前のガス抜きを必ず行ってください。

☎ 廃棄物対策課
055(949)6805